



# 子どもの遊ぶ笑顔が

第7回冒険遊び場づくり全国研究集会+関連企画  
2016. 11. 20~27 IN 宮城県仙台市・富谷市

# 地域を創生する



## 子どもの遊びの本質を考え、感じる1週間

2016年11月 20日(日)~23日(水) 子どもの“遊ぶ”がまちにあふれる写真展 【無料】  
25日(金) 記念フォーラム 困難を抱える子どもへの支援と冒険遊び場づくり【参加費無料、資料代500円】  
26日(土)・27日(日) 第7回冒険遊び場づくり全国研究集会 【参加費5000円、1日でも2日でも同じ、分科会等事前申込要】

主催： 特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会

【平成28年11月2日公開版】

# 子どもの遊びの本質を考え、感じる1週間

11月20日（日）～23日（水）

## 子どもの“遊ぶ”がまちにあふれる写真展

### 子どもの声をひろう～心にのこるあの一言～ 【無料】

会場：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア

時間：20日（日）12:00～16:00 21日（月）～23日（水） 10:00～16:00

11月25日（金）記念フォーラム 困難を抱えた子どもへの支援と冒険遊び場づくり【参加費無料、資料代500円※】

### 「遊びにおいて。食において。話しにおいて。」

登壇者 青柳光昌（日本財団上席チームリーダー）「徹底調査 子供の貧困が日本を滅ぼす」著者

小川多鶴（一般社団法人アクロスジャパン代表）妊娠した十代の女性への相談・支援

栗林知絵子（NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長 池袋本町プレーパーク代表）

会場：仙台市市民会館 地下1階 小ホール+展示室

時間：12:00開場 13:00開演（～16:00）

小ホールの向かいにある展示室に、本フォーラムの親子視聴スペースを設けます。

あわせて、冒険遊び場の写真展をしますのでごらんください。

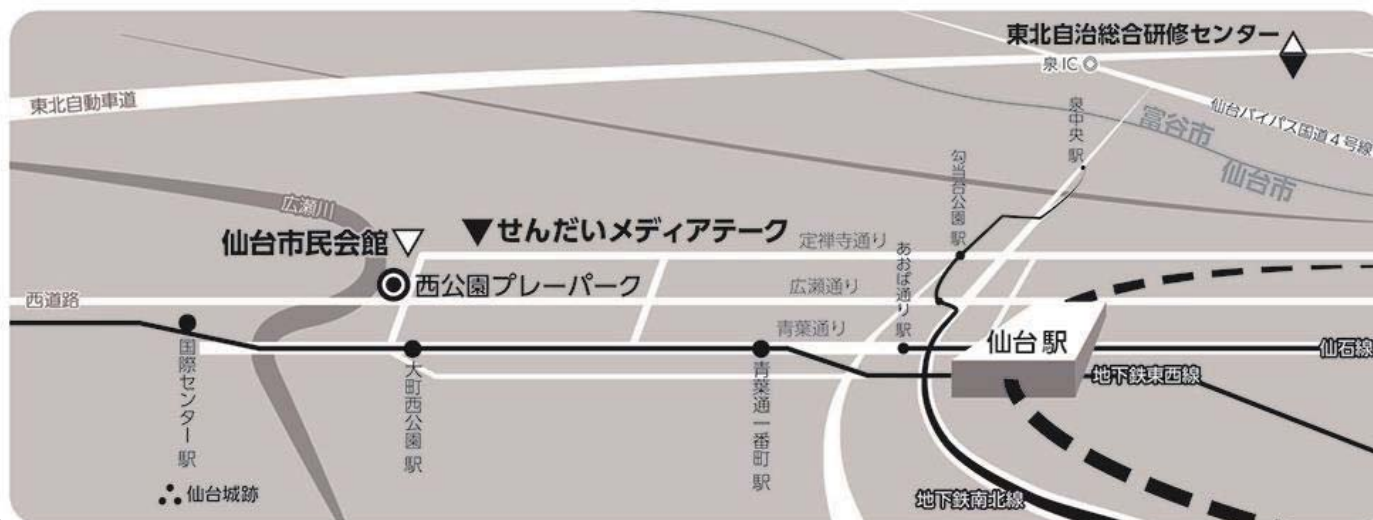
※1 本フォーラムは事前申し込みの必要はありません。

11月26日（土）・27日（日）

## 第7回冒険遊び場づくり全国研究集会

### 「子どもの遊ぶ笑顔が地域を創生する」 【参加費5000円※】

会場：東北自治総合研修センター ※分科会等の事前申込が必要です、宿泊費・食費等実費必要（ネット申込）



## 託児について

全国研究集会の分科会A・Bの時間は、託児が可能です。

・対象：生後6ヶ月～未就学児  
しょうがいのあるお子さんをご相談ください。

・定員：15名（いずれも先着順）

・託児料：ひとり、1回につき500円  
（当日、託児室受付でお支払いください）

・申込方法：下記お問い合わせから  
申込書をお取り寄せの上、お申込みをお願いします。

・お問合せ：電話022-264-0667

jimukyoku@bouken-asobiba-net.com

# 子どもの遊びの本質を考え、感じる1週間 スケジュール表

子どもの遊びの本質を考え、感じる1週間 スケジュール表							第7回冒険遊び場づくり全国研究集会 東北自治総合研修センター	
日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
曜	日	月	火	水	木	金曜日	土曜日	日曜日
7時								
8時							前泊者朝食 7時30分～8時30分	宿泊者朝食 7時30分～8時30分
9時								※グランディ21宿泊者用の送迎車両出発
10時								研究集会受付 9時～10時
11時								分科会B (7テーマ) ♥ 10時～12時
12時								
13時						受付12時～13時	研究集会受付・前泊者昼食 12時～13時	昼食 12時～13時
14時						記念フォーラム ♥ 仙台市民会館 小ホール 13時～16時 ♥	全国研究集会開会・ 基調プログラム ♥ 講堂 13時～15時 移動・休憩	まとめプログラム ♥ 講堂 13時～15時
15時								閉会15時15分
16時							分科会A (7テーマ) ♥ 15時30分～17時30分	
17時							移動・休憩	
18時							懇親会(夕食) 食堂 18時～20時	
19時								
20時						前泊受付 研修センター 19時～21時	※グランディ21宿泊者用の送迎車両出発	
21時								
22時								
						消灯23時	研修センター 消灯23時	

子どもの遊ぶが  
まちにあふれる写真展  
せんだいメディアテーク  
1階オープンスクエア  
20日:12時～16時  
21日～23日:10時～16時

フォーラム受付時間に、隣接する展示室で写真展を行っています。早めに来て、ごらんください。

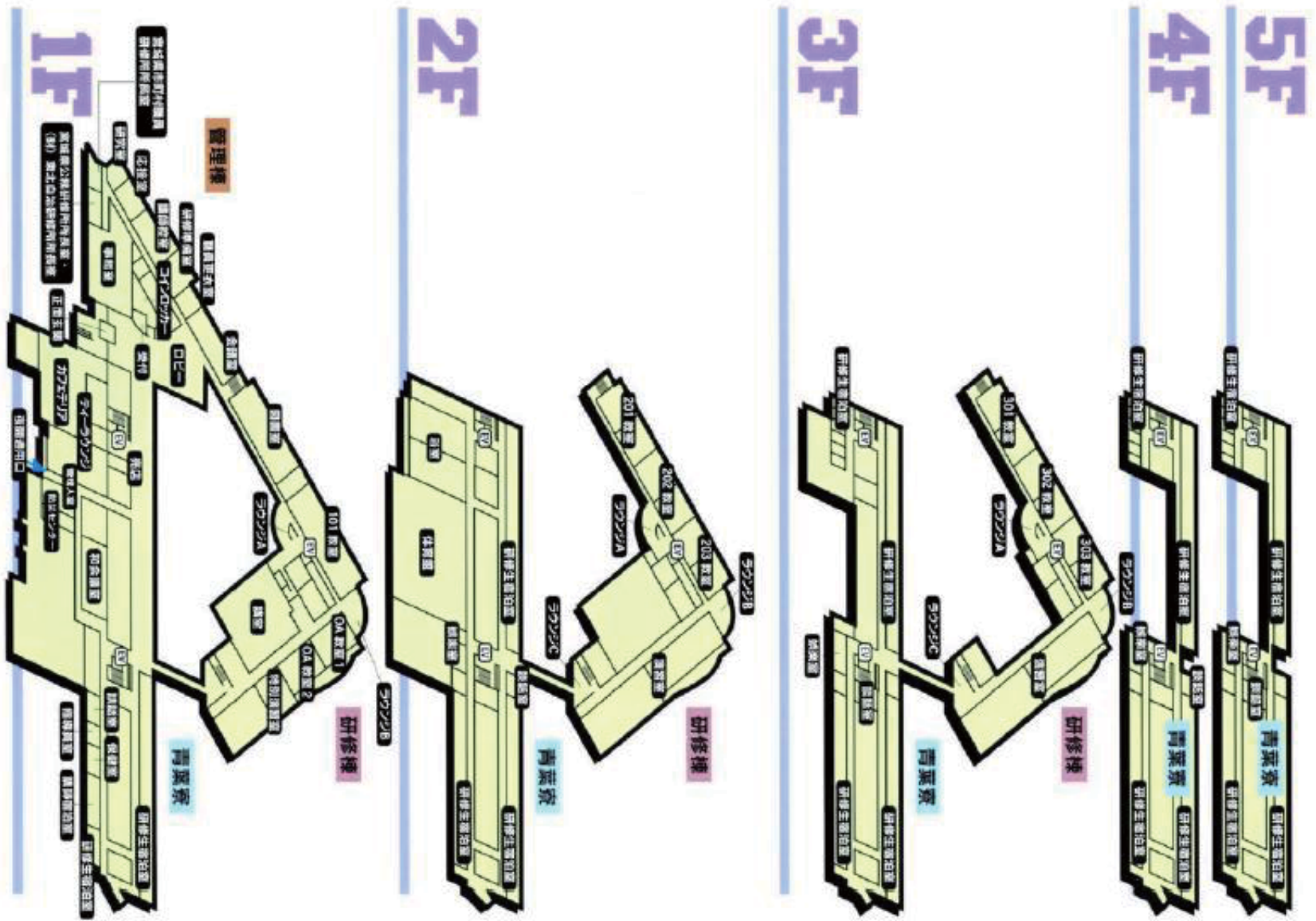
東北自治総合研修センターの宿泊施設はシングルのみです。(中学生以上宿泊可能)  
  
家族同伴で宿泊可能なグランディ21(30名相部屋)へは1日目の懇親会終了後、2日目の朝食後に車両で送迎します。

凡例：♥子ども同伴視聴室あり ♥託児あり

**寄付・協賛企業を募集しています。**  
資金協力が得られれば、研究集会の資料及び報告書等の充実を図り、研究集会の成果を日本全国に共有することができます。

第7回冒険遊び場づくり全国研究集会 会場：東北自治総合研修センター

各階レイアウト図



施設平面図について

第7回 冒険遊び場づくり全国研究集会

# 子どもの遊ぶ笑顔が地域を創生する

～被災から5年経た東北から全国へ～

遊びも全国研究集会も  
真剣勝負！まってるぜ



## <基調プログラム>

♡子ども同伴視聴室あり※

- 問題提起「子どもの遊ぶ笑顔が地域を創生する」
- パネルディスカッション「子どもの遊ぶ笑顔の力」  
～大災害と遊びを通じた子どもの心のケア～

コーディネーター：佐藤 慎也（実行委員長、山形大学教授）

パネリスト：鈴木美和子（気仙沼あそびーば 代表）

須永 力（一般社団法人プレーワーカーズ 代表）

田中 雅子（特定非営利活動法人こども∞感ぱにー 代表）

## <分科会14テーマ>

♡託児あり※、（一部テーマのみ♡子ども同伴視聴室あり※）

- 大災害と子どもの心のケア関連テーマ(4)
- 遊び場づくり関連テーマ(6)
- 市民・行政協働関連テーマ(4)



## <まとめプログラム>

♡子ども同伴視聴室あり※

- 全体会「日本全国を遊びあふれるまちへ」
- 宣言

## <その他>

- 懇親会
- 東日本大震災の被害・復興状況写真パネル展示
- 各種資料販売・配布



※お子さん連れ参加の方のために、お子さんもゆったりとすごすことができる♡子ども同伴視聴室をメイン会場に隣接した部屋に用意します。分科会の時間は♡託児を用意します。

2016年 11月26日(土)・27日(日)

会場:東北自治総合研修センター

所在地：〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1

TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

交通：（公共交通利用）仙台地下鉄南北線「泉中央駅」からバス利用、  
「自治研修センター前」下車、徒歩5分（クルマ利用）駐車場270台分

研究集会参加費：5000円（1日でも2日でも同じ）

### ●参加費以外の実費の目安

【宿泊1（前泊25日、26日）】

東北自治総合研修センター青葉寮（シングルのみ4500円 朝食付）

【宿泊2（26日）】

利府のグランディ21リフレッシュプラザ（相部屋 朝食付 会場送迎付）

（大人4050円、高校生以下の子も3050円、3歳未満無料）

26日夜と27日朝に研修センター間を送迎します。

【宿泊（その他）】別途宿泊場所の確保をお願いします。

【食費】昼食600円

【懇親会（夕食）】中学生以上2000円 小学生1000円 乳幼児無料

ソフトドリンク含む、アルコール類は当日に別途ご購入いただけます。

【託児】500円/子ども人・日（詳細はHPに別途掲載予定）

主催：特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会

〒154-0003 東京都世田谷区野沢3-14-22

TEL.03-5430-1060 FAX. 03-5432-9114

E-mail: info@bouken-asobiba.org URL: http://bouken-asobiba.org

## 開催趣旨(震災から5年を経て)

阪神・淡路大震災の避難所で行った遊び場が、子どもの心のケアにつながっていたことが後に発見・共有されたおかげで、東日本大震災では発災直後から「遊びを通じた子どもの心のケア」活動が展開されました。

被災から5年経て振り返ると、遊びこむことで子どもの心が回復して笑顔を取り戻していく姿が、逆に被災地の大人を勇気づけ、地域の絆を強くしていました。

また、東日本大震災は、都市部だけではなく豊かな自然に恵まれた地域においてさえ、子どもは外で遊ぶなくなっているという全国共通の問題を明らかにしました。

私たちは、人口減少社会に立ち向かう現代の日本において、子どもの遊ぶ笑顔をふやす遊び場づくりを、市民と行政がパートナーシップを結び、協働して推進し、活力ある地域を創生していくことを提案します。



## 分科会

### <分科会A> 11月26日(土)

- A-1 災害時の心のケアの基本を知ろう
- A-2 東北の子どもたちはどのように回復していったか
- A-3 プレーリーダーの可能性を語ろう
- A-4 遊び場の危険管理①  
危険とつきあう力を育てる～危険察知センサーを磨く～
- A-5 冒険遊び場の運営をどうするの?① はじめの一步
- A-6 遊び場づくりで地域を創生する①  
東根市あそびあランドの挑戦
- A-7 外遊びを推進する自治体の人の話を聞こう  
冒険遊び場づくりの取組み事例

### <分科会B> 11月27日(日)

- B-1 被災地を駆け抜けるプレーカーの可能性
- B-2 経験に学ぶ未来の大災害への備え
- B-3 プレイワークと地域社会
- B-4 遊び場の危険管理②ケガによるトラブル事例とその対応
- B-5 冒険遊び場の運営をどうするの?② 地域定着・世代交代
- B-6 遊び場づくりで地域を創生する②  
初めよう!盛り上げよう!『乳幼児のあそび場づくり』
- B-7 自治体・NPOの人と協働について話そう  
日常そして被災地のネットワークづくりについて考える

## タイムスケジュール

### 11月26日(土)

12:00 ~ 13:00 受付

13:00 ~ 15:00 開会/基調プログラム ♡

15:00 ~ 15:30 移動・休憩

15:30 ~ 17:30 分科会A ♡

17:30 ~ 18:00 移動・休憩

18:00 ~ 20:00 懇親会(夕食)

23:00 消灯 (入浴19:00~23:00)

### 11月27日(日)

7:00 ~ 9:00 朝食

9:00 ~ 10:00 受付

10:00 ~ 12:00 分科会B ♡

12:00 ~ 13:00 昼食

13:00 ~ 15:00 まとめプログラム ♡

15:00 ~ 15:15 閉会

凡例: ♡子ども同伴視聴室あり ♡託児あり

## 最新情報・申し込みはこちら

▼第7回冒険遊び場づくり全国研究集会HP

<http://boukenasobiba7.asobia.jp>

▼Facebook ページ

<http://bouken-asobiba.org/info/facebook.html>

参加申込受付中(10月1日から)

左記HP内で詳細内容を

確認のうえ手続きしてください。

申込締切は11月8日です。



# 第7回 冒険遊び場づくり全国研究集会

## 子どもの遊ぶ笑顔が地域を創生する

### ～被災から5年経た東北から全国へ～

場所:東北自治総合研修センター  
 11月26日(土):基調PR 分科会A  
 11月27日(日):分科会B まとめPR

主催:特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会

## プログラムテーママップ

各プログラム・分科会の詳細はHPIに別途掲載しますのでご覧ください。

### 《協会の中期ビジョン（数値目標）》

- ★次回の全国研究集会（2019年）までに全都道府県に冒険遊び場づくりがあること。
- ★次々回の全国研究集会（2022年）の時には、年間100日以上開園の冒険遊び場づくりが全都道府県にあること。

### <分科会:市民・行政協働関連テーマ>

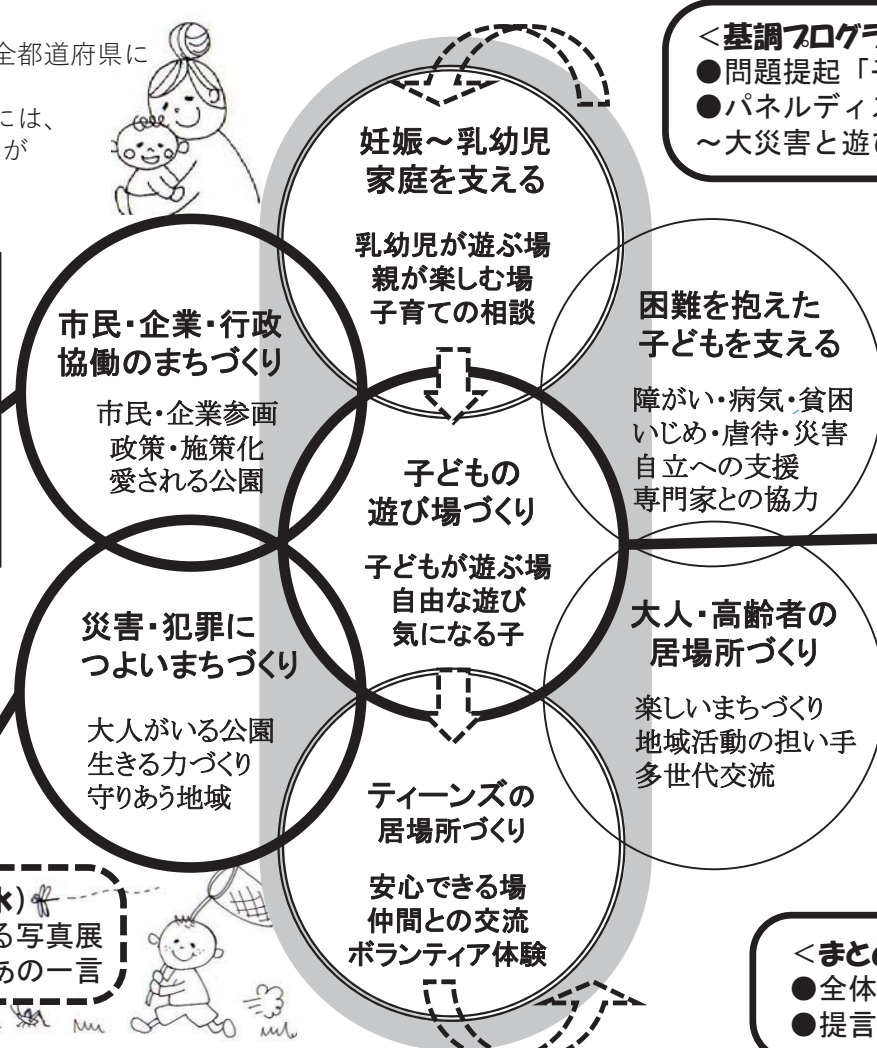
遊び場づくりで地域を創生する  
 A-6 ①東根市あそびあランドの挑戦  
 B-6 ②初めよう！盛り上げよう！『乳幼児のあそび場づくり』  
 A-7 外遊びを推進する自治体の人の話を聞こう～冒険遊び場づくりの取り組み事例～  
 B-7 自治体・NPOの人と協働について話そう～日常そして被災地のネットワークづくりについて考える

### <分科会:大災害と心のケア関連テーマ>

A-1 災害時の心のケアの基本を知ろう  
 A-2 東北の子どもたちはどのように回復していったか  
 B-1 被災地を駆け抜けるプレーカーの可能性  
 B-2 経験に学ぶ未来の大災害への備え

### <写真展> 11月20日(日)～23日(水)

- 子どもの“遊ぶ”がまちにあふれる写真展
- 子どもの声をひろう～心にのこるあの一言



### <基調プログラム> 11月26日(土)

- 問題提起「子どもの遊ぶ笑顔が地域を創生する」
- パネルディスカッション「子どもの遊ぶ笑顔の力」～大災害と遊びを通じた子どものこころのケア～

### <記念フォーラム> 11月25日(金)

- 困難を抱えた子どもへの支援と冒険遊び場づくり～遊びにおいて。食において。話しにおいて。～

### <分科会:遊び場づくり関連テーマ>

冒険遊び場の運営をどうするの？  
 A-5 ①はじめの一步  
 B-5 ②地域定着・世代交代

遊び場の危険管理  
 A-4 ①危険とつきあう力を育てる～危険察知センサーを磨く～  
 B-4 ②ケガによるトラブル事例とその対応

A-3 プレーリーダーの可能性を語ろう  
 B-3 プレイワークと地域社会

### <まとめプログラム> 11月27日(日)

- 全体会「日本全国を遊びあふれるまちへ」
- 提言

図:冒険遊び場づくりは地域マネジメント施策 凡例:切れ目のない(循環する)子どもの居場所づくり

### A-1 災害時の心のケアの基本を知ろう

【担当・コーディネーター】佐藤美嶺 西公園プレーパークの会・防災士  
 【パネリスト】西野美佐子 東北福祉大学 特任教授 / 米山清美 協会地域運営委員  
 (兵庫)にしのみや遊び場つくろう会 代表 / 天野秀昭 協会事務統括理事

災害時の子どもの心のケアは、阪神・淡路大震災後しばらくしてPTSDの症状が子どもに多く現れたことで日本でも注目されるようになり、東日本大震災では発災直後から重要視されました。子どもの心のケア活動に、遊びがなぜ効果的なのでしょう。子どもを取り巻く大人の心のケアがなぜ必要なのでしょう。本分科会では、子どもの心のSOSをキャッチし、対処していくために必要な、心のケアの基本を確認していきます。

### A-2 東北の子どもたちはどのように回復していったか

【担当・コーディネーター】鶴岡彰 西公園プレーパークの会  
 【パネリスト】須永力 (一社)プレーワーカーズ代表 / 高橋慶 (特非)みんな共和国、田中雅子 (特非)子ども∞カンパニー

東日本大震災後、子どもの心のケアを目的にした遊び場が各地で行われましたが、被害が甚大な地域の子どもの心は遊んでいいよというのに、すぐには遊び出ませんでした。子どもが静かすぎる、いい子すぎるという違和感に、これほどまでに子どもは我慢していたのかと大人の方がショックをうけました。現在まで子どもを見守ってきた人たちと当時の子どもに東北の子どもたちがどのように回復していったのかを語ってもらいます。

### A-3 プレーリーダーの可能性を語る

【担当・コーディネーター】松田 秀太郎 協会地域運営委員(岡山)・プレーリーダー・ソーシャルデザイナー  
 【パネリスト】高橋 利道 協会理事・プレーリーダー・遊び環境コーディネーター / 高成田 健 (特非)ワーカーズコープ理事

子どもの遊びに関わるプレーリーダーの大切さを感じる一方、人材の発掘、育成、雇用、賃金、継続するなど多くの課題が現実です。そうした中、プレーリーダーの果たす役割は、冒険遊び場づくりの枠を超え、地域や社会に活躍の場がひろがっています。社会にアクションを起こす登壇者から話題提供を受け、会場の皆さんと一緒に、プレーリーダーの可能性、つまりプレーリーダーの潜在的な発展性について議論したいと思います。

### A-4 遊び場の危険管理① 危険とつきあう力を育てる

#### ～子どもの遊びを見守る側の『危険察知センサー』を磨く～

【担当・コーディネーター】大垣内 弘美 (特非)プレーパークセタがや事務局・遊びの出前プレーカー事業&遊育ラボ担当 / 福島 智子 (特非)プレーパークセタがや理事

子ども達の「それ、やってみたい!」を応援し、わくわくどきどきする遊び場を実現したいからこそ、遊び場の運営にかかわる一人として『危険とつきあう力を育てる!』を大切にしたいと思っています。今回は、シミュレーションを元に、自分自身の「危険察知センサー」の在り方に気づき、どんな視点を持っておいたらよいか、参加者と共に学びあう機会です。『日頃から養いたい「危険察知センサー」とはなんじゃらほいっ!』を、自ら考え、共に学びましょう。

### A-5 冒険遊び場の運営をどうするの?①

#### はじめの一步

【担当・コーディネーター】関戸博樹 協会理事・プレイワーカー  
 【パネリスト】はじめの一步を踏み出した方たち

「遊び場づくりやってみよう!」その思いを実現させた、はじめの一步は何ですか?そして、踏み出した歩みによって見えた成果や課題とは?次の二歩目に進むための工夫とは?活動を始めたばかりの方々の報告を皮切りに、遊び場の運営に関する様々な意見交換ができる時間をつくりたいと思っています。これから活動を始めようと考えている方はもちろん、若葉マークからベテランまで参加者大募集です!

### A-6 遊び場づくりで地域を創生する①

#### 山形県東根市あそびあランドの挑戦

【担当・コーディネーター】村山恵子 協会地域運営委員(山形)・(特非)クリエイティブがしね 【パネリスト】岡田光弘 東根市子育て健康課 課長補佐

全国には、住民組織と行政が協働して運営している取り組みがいくつかありますが、山形県東根市はそのうちのひとつです。協働が大事と言っても、実際には様々な課題がそこにはあります。全国の地域で、子どもが自由に遊び育つ環境づくりを、様々な大人が立場を超えて、また子どもたちとも手を取り合ってすすめていくことを目標に、分科会に参加されるみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

### A-7 外遊びを推進する自治体の人の話を聞こう

#### 冒険遊び場づくりの取組事例

【担当】嶋村仁志 協会理事・TOKYO PLAY代表 【コーディネーター】梶木典子 協会副代表・神戸女子大学教授 【パネリスト】吉田哲也 宗像市教育子ども部子ども育成課 / 水元和子 岡山市岡山っ子育成局地域子育て支援課 / 吉谷 悠 横浜市環境創造局公園緑地維持課

自治体による冒険遊び場事業への取り組みは、全国各地で実施されるようになってきており、地域の実情に応じて様々な方法が取られています。本分科会では、全国における自治体事業の現状を概観したうえで、冒険遊び場事業を推進している先導的な自治体の担当者から事業についてご紹介いただきます。また、これまで全国各地で自治体事業のスタートアップを支援してきた当協会理事より、冒険遊び場づくり事業をスタートする際のポイント等を解説します。

#### プログラムは日々進化中! 参画者歓迎!

今回の全国研究集会では、参加する皆様からの問題提起や事例紹介、および積極的な意見交換を通じて、有意義な議論を進めていきたいと考えています。分科会の概要をご覧ください。参加者席からでも参画したいという方を歓迎します。



### B-1 被災地を駆け抜けるプレーカーの可能性

【担当・コーディネーター】神林俊一 協会地域運営委員(宮城)・(一社)プレーワーカーズ事務局長 / 齊藤信三 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク / 廣川和紀 (一社)プレーワーカーズ

東日本大震災から1か月後に宮城県気仙沼で常設の子どもの遊び場「あそびーばー」をつくり、マスコミ等で取り上げられました。しかし、被災地はあまりに広大でしたので、「うちの地域でも遊び場を」という要望に応えるべく遊び場の出前をプレーカーではじめました。被災地を駆け抜けたプレーカーは子どもや大人や地域に何をもたらしたのか、これまでのエピソードを語ってもらうとともに、今後の可能性について深めていきます。

### B-2 経験に学ぶ未来の災害への備え

【担当・コーディネーター】根本暁生 協会地域運営委員(宮城)・(特非)冒険あそび場せんだい・みやぎネットワーク 【話題提供】西公園プレーパークの会 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク / 辺見妙子 青空保育たけの子(米沢市)

今回の震災で、私たちは「平時からの備え」の大切さを学びました。震災前からの遊び場づくり活動を通して得られた経験・つながりは、今回どのように活かしたのでしょうか。一方、震災によって遊びの大切さが大人たちに認識されて遊び場づくり活動が生まれたケースも多くみられました。また、真の「防災力」は遊ぶ経験を通して身につく、という議論もあります。震災での「気づき」を起点に、語り合いたいと思います。

### B-3 プレイワークと地域社会

【担当・コーディネーター】佐藤美和 地域運営委員(関東・埼玉)・たねの会代表・埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会 【パネリスト】宮里和則 北浜こども冒険ひろば・プレイワーカー(品川区) / 西川正 (特非)ハンズオン!埼玉

「子どもにあたらず火にあたる」『日本コミュニティ七輪学会』プレゼンツ?! まちをじんわりあたためるプレイワークとは?!  
近年ショッピングセンターなどで有料の室内の遊びの場所が急速に増えています。わたたちはどんな風景をまちの中でみたいのでしょうか。まちに子どもの声が聞こえるようにするためにプレイワーカーにできることはなんでしょう。熱く愉快なおふたりと一緒に考えてみませんか?

### B-4 遊び場の危険管理②

#### ケガによるトラブル事例とその対応

【担当・コーディネーター】三輪英児 (特非)プレーパークせたがや理事・事務局長  
【パネリスト】登坂真人 弁護士・(特非)プレーパークせたがや理事 / 鈴木幸生 東京海上日動代理店ベルウッド インシュアランスセールス代表

遊んでいる時の子どものケガは、ある程度避けられないリスクですが、その中でも事故とも言える大きなケガの発生時には、責任の所在をめぐって保護者等とトラブルになる場合もあります。現役の弁護士と損害保険のプロをパネリストとして御呼びし、現代の社会状況や人々の意識などを、最近起きたトラブルを例に法律面と損害補償の両面から解説していただき、遊び場の運営者としての対応を考えます。

### B-5 冒険遊び場の運営をどうするの?②

#### 地域定着・世代交代

【担当・コーディネーター】入江雅子 協会理事・戸山あそび場(新宿区)  
【進行協力者】藤原浩美 協会地域運営委員(福岡)・子ども支援ネットワークWith Wind / 和田京子 協会地域運営委員(千葉)・市川こどもの外遊びの会

冒険遊び場を継続していく中でぶち当たるさまざまな課題について、みんなで話し合い、乗り越えるための方法を考えていく分科会です。参加する皆さんがそれぞれの課題やチャレンジした経験を持ち寄れば、きっと実り多い会になるはず! 事例報告として千葉県のネットワーク作りについても聞く予定です。

### B-6 遊び場づくりで地域を創生する②

#### 初めよう!盛り上げよう!『乳幼児のあそび場づくり』

【担当・コーディネーター】中川奈緒美 (特非)あそびっこネットワーク代表(練馬区)  
【パネリスト】古賀 彩子 (一社)PLAY FUKUOKA / 森川 和加子 せたがや子ども・ワカモノねっと/フリーランスプレーワーカー

乳幼児のあそび場では、親の子育て力が育ちます。だから、地域の子どもの生きる力の底上げができます。乳幼児のあそび場を始めるために必要な、遊び環境設定・スタッフ研修・予算確保等運営のノウハウを、事例を通してご紹介します。

### B-7 自治体・NPOの人と協働について話そう

#### 日常そして被災地のネットワークづくりについて考える

【担当・コーディネーター】佐藤慎也 (特非)冒険あそび場せんだい・みやぎネットワーク代表・西公園プレーパークの会代表・山形大学教授 【話題提供】吉山周作 子ども夢ハウスおおつち(岩手県大槌町) / 新道欣也 (特非)龍田共有ネットワーク代表(熊本市) / 自治体の方調整中

地域再生に向けて協働がこれからの大きなテーマとなろうとしています。日常のネットワークは、被災後のネットワークとして活かされるばかりではなく、自治体間の交流、NPOや民間の交流が被災地を助け、新たなコミュニティ形成に希望を灯してくれます。こちらでは話題提供者として被災地の熊本から新道さん、大槌から吉山さんを招きながら、自治体の方からの活発な議論をいただき、どのように工夫を重ねればいいのか一緒に考えていきます。

#### 現時点の分科会概要です。最新版はHP参照!

今回紹介するのは、現時点での分科会概要です。まだまだ推敲中のものもありますが、さらなる進化を目指し取り組んでいる最中でありますのでご容赦ください。



# 冒険遊び場づくりをしたい方

皆さんのまちの職員を誘って、一緒に参加してみませんか？  
皆さんのまちの市民を誘って、一緒に参加してみませんか？

## こんな話を聞くことができます！

### 冒険遊び場づくりは、総合的な地域マネジメント施策

冒険遊び場という子どもの遊び場づくりを行うと、日本の社会が抱えている様々な課題に対処することができます。最近の国勢調査で人口が増えていたある自治体では、冒険遊び場づくりを、地域の交通・住宅・雇用創出・産業振興などの基本施策と合わせて実施していました。

### 冒険遊び場づくりは、切れ目のない居場所づくり！

冒険遊び場には、妊娠中の母がおとずれ、ハイハイの乳幼児も外で遊んでいます。子どもは小学生となり思い切り遊び、十代になってからもおしゃべりに来ます。多世代が集う冒険遊び場で子ども時代を過ごした若者は、人への基本的な信頼感や安心感をもち、新たな家族をつくり、冒険遊び場を再びおとずれます。切れ目がないどころか、世代を超えて循環しているのです。

### 冒険遊び場では、3人兄弟が当たり前！

少子化が社会問題となっている中で、冒険遊び場では3人兄弟が当たり前のようにいます。母たちにわけを聞いてみると、冒険遊び場で第1子を子育てしてみたら、子どもが元気に遊んでたくましく育っていくのを見るのが楽しいし、子どもと近い距離感でいられて、自分の気持ちも楽になるから、自然と兄弟つくってやりたいなあと思ったんだって。

### 冒険遊び場では、子どもの基本的な力が自然と育つ！

冒険遊び場にいったら、特に乳幼児の動きに注目してみてください。自分で考えて自由に遊んで育っている乳幼児の、ほれぼれするような筋肉や身のこなし、観察する力、発想する力、挑戦する意欲、コミュニケーション能力。乳幼児期に自然と身に着けた基本的な力が、将来の学びの場面、暮らしの場面、働く場面でも活かされることでしょう。

### 冒険遊び場は、平時における大災害への備え！

東日本大震災では、遊びを通じた子どもの心のケア活動を行いました。一番大切なのは平時における備えです。冒険遊び場が地域にあると、発災直後からきめ細かいケアをすることができます。

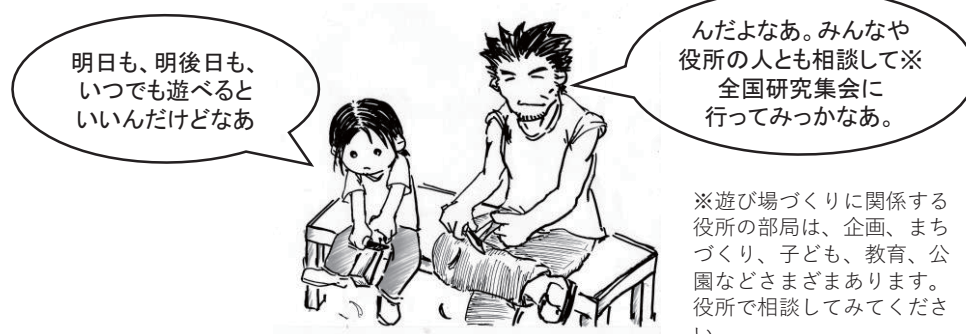
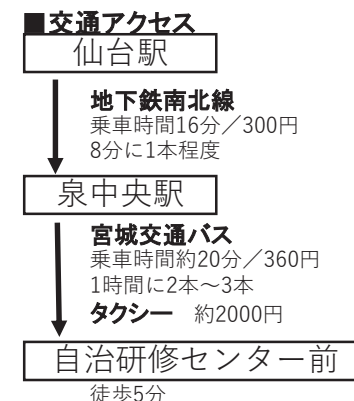
### 東日本大震災の被害・復興状況を写真パネルで確認

東日本大震災の発災から復興への経過を撮影した生々しい写真パネルで当時を振り返ります。被災地もどんどん変化しているので、初めて被災地を訪れる方も、復旧のボランティアをしたという方にも見ていただきたい。（宮城県・仙台市などから借用予定）

## 会場の東北自治総合研修センターは東北六県の県及び市町村職員の研修所です。



写真：東北自治総合研修センターHPより



※遊び場づくりに関係する役所の部局は、企画、まちづくり、子ども、教育、公園などさまざまあります。役所で相談してみてください。

【東北の全国研究会の企画メンバーからのメッセージ】  
東日本大震災前には4か所しかなかった東北の冒険遊び場活動が、震災後に30か所以上になりました。しかし、5年経ち、今も継続できている遊び場はわずかです。遊び場を継続的に運営するためには、市民と行政が協働して取り組むしくみが必要です。  
そこで、3年に一度の冒険遊び場づくり全国研究会を東北に誘致して、自治体職員も参加しやすいように、テーマを厳選し、東北自治総合研修センターで行うこととしました。  
ぜひこの機会を活用して、市民と自治体職員とで子どもの遊びについて話しませんか。